

## 特徴と目的

博士課程をはじめとした外国からの学生やPD研究員などの宿泊・滞在用の施設。また、日本人学生が海外に留学予定の準備として外国人らと共同生活をしたり、国際交流イベントを開催することなどにより、日常的に海外の生活、文化に触れ国際性を育むことを目的としている。



# Ti-House

豊田工業大学 国際交流ハウス  
Toyota Kōdai International House

Toyota Technological Institute (TTI)  
Toyota Keigo Daigaku (Toyota Kōdai)

愛称：Ti-House (タイハウス)  
Toyota International House の略

ロゴマークは建物の形から来ており、中央の国際交流ハウスを中心に4つのウィングから構成されていることを表します。また、蝶ネクタイの形にも見え、結びつきを表現しています。

### 建築概要

名称	豊田工業大学 国際交流ハウス Toyota Kōdai International House
所在地	愛知県名古屋市長区久方3丁目148番,151番,152番
主要用途	寄宿舎
建主	学校法人トヨタ学園
設計・監理	株式会社 久米設計
施工	トヨタ T&S 建設株式会社
面積・規模	敷地面積 2,419.11㎡ 建築面積 1,319.08㎡ 延べ面積 2,773.60㎡ 階数地上4階建
建蔽率	54.53% (許容:60%)
容積率	112.15% (許容:150%)
最高高	9.39m
軒高	8.91m
階高	2.8m, 2.765m
天井高	2.5m (寮室D)
主なスパン	6.0m×6.0, 6.6m
地域地区	市街化区域、10m高度地区、22条区域
道路幅員	北側6.0m、西側6.0m、南側6.5m
設計期間	2013年3月～2014年4月
施工期間	2014年7月～2015年4月
構造	PCa造、RC造、RC+S造

RC造 (ラーメン構造)	RC +	RC造 (ラーメン構造)
PCa造 (壁式構造)	S造	PCa造 (壁式構造)

空調方式	寮室：ルームエアコン、共用部：GHP(ガスヒートポンプマルチパッケージ)
衛生設備	受水槽 + 加圧給水ポンプ方式
給湯	ガス瞬間湯沸器
排水	汚水、雑排水合流方式
受電方式	低圧受電
契約方式	寮室毎の個別契約
防災設備	(消火) 屋内消火栓設備 (排煙) 自然排煙
昇降機	乗用エレベーター 12人乗 × 1台
外部仕上	屋根 / 露出シート防水外断熱工法 外壁 / PCa+ フッ素樹脂塗装、RC+ フッ素樹脂塗装 開口部 / アルミ建具、ステンレス建具
内部仕上	床 / 複層ビニル床タイル、コンポジションビニル床タイル、長尺シート、クッションフロア 壁 / EP、ビニルクロス、不燃化粧板 天井 / 岩綿吸音板、化粧石膏ボード、EP、ビニルクロス
外構	舗装 / アスファルト舗装、土間コンクリート、レンガタイル 高木 / クロコナメチ 生垣 / ウバメガシ 地被 / タマリユウ、ヤブコウジ、ヘデラ・カナリエンシス 芝生 / コウライシバ

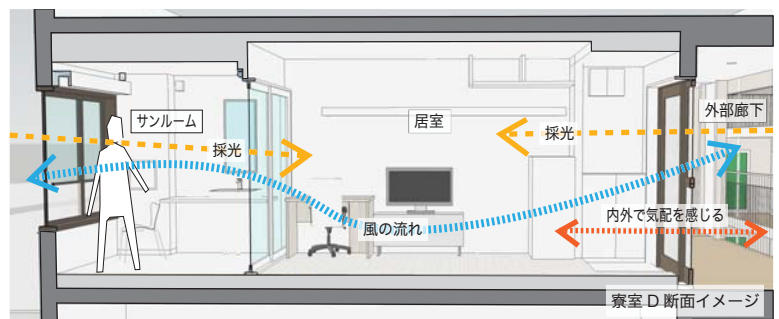
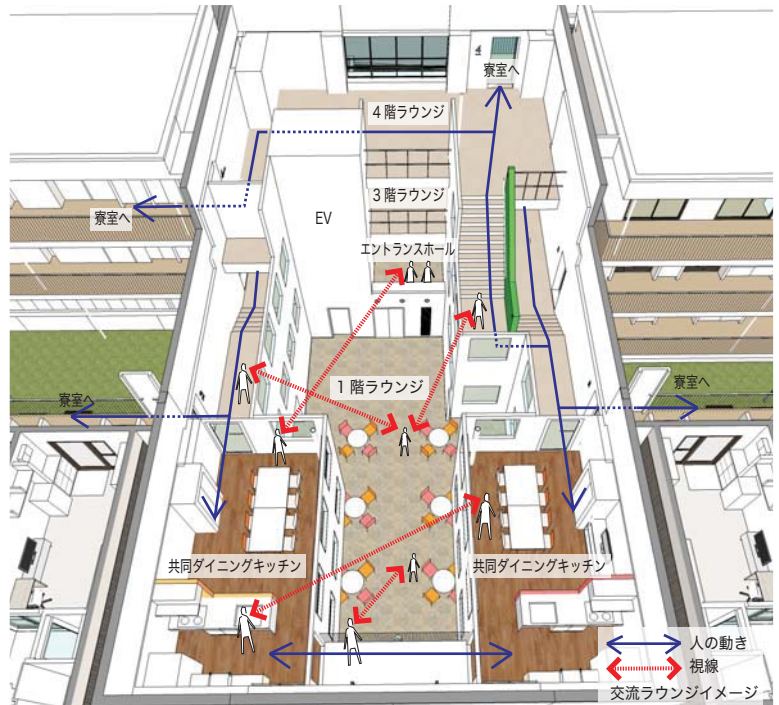


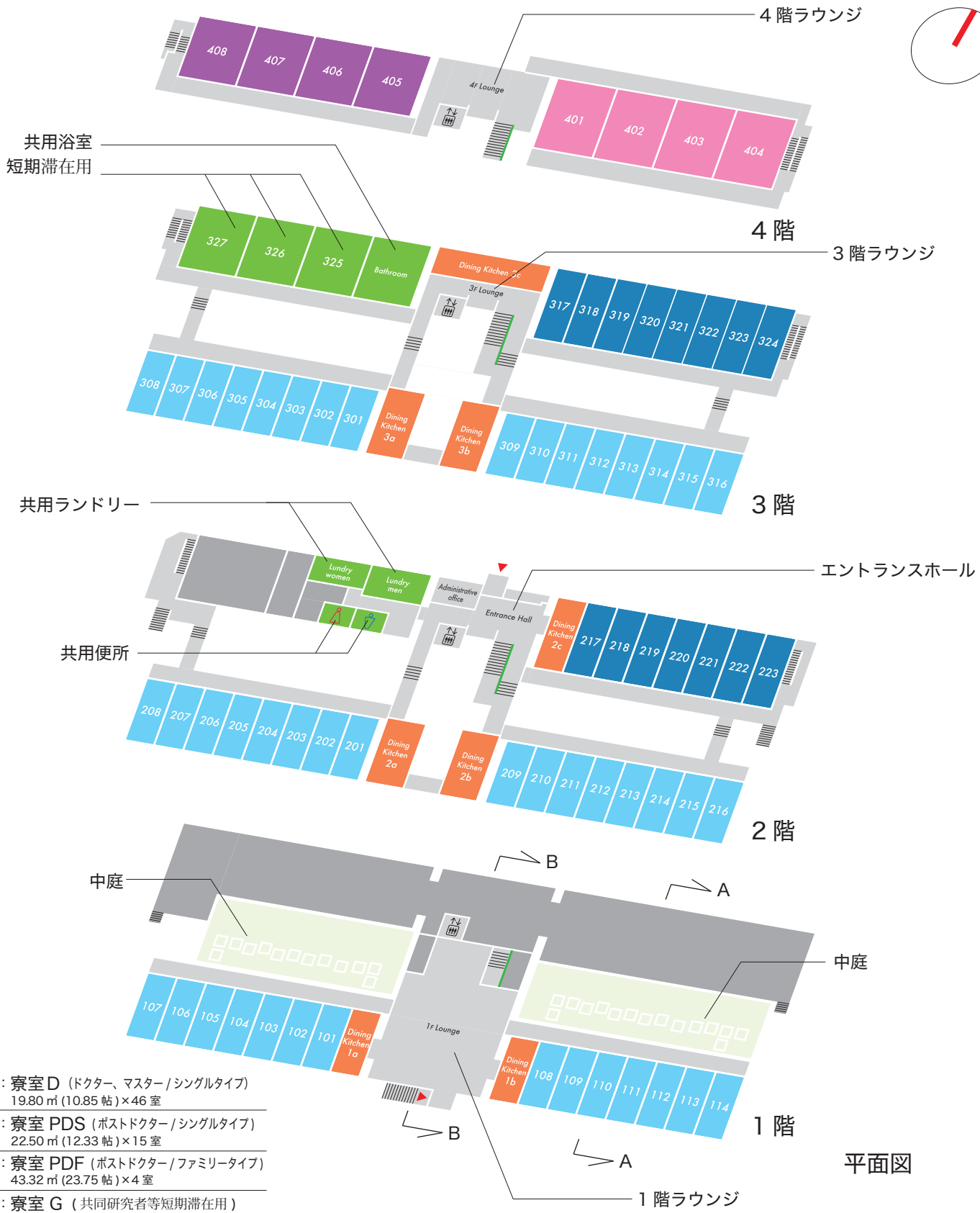
南側より建物を見る



交流ラウンジを見る

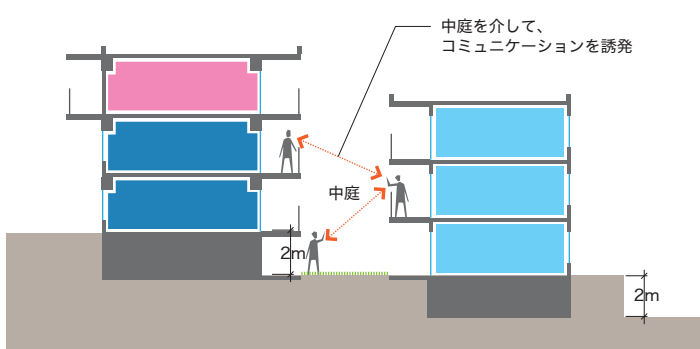
「寮生間のコミュニケーションを活性化し、それを表出する空間の実現」



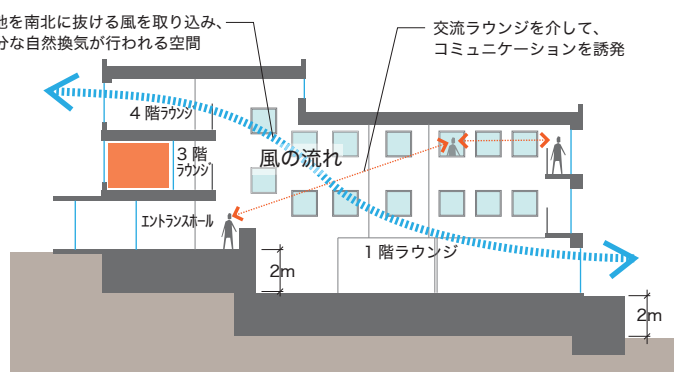


- : 寮室 D (ドクター、マスター/シングルタイプ)  
19.80㎡ (10.85帖) × 46室
- : 寮室 PDS (ポストドクター/シングルタイプ)  
22.50㎡ (12.33帖) × 15室
- : 寮室 PDF (ポストドクター/ファミリータイプ)  
43.32㎡ (23.75帖) × 4室
- : 寮室 G (共同研究者等短期滞在用)  
33.33㎡ (18.27帖) × 4室
- : 共同ダイニングキッチン × 8室

平面図



A 断面図



B 断面図